



公明党
岩城 桂子

安全・安心の防災対策を！ 避難所の防災機能整備の構築を望む



仙台港

問 東日本大震災の教訓で学校防災計画の策定について、予防対策や応急対策の取り組みはどうか。

答 学校教育課長 安全教育・安全点検で防災マニュアル策定の見直しを図る。

問 当町の防災教育や保護者との連絡体制はどうか。

答 学校教育課長 避難訓練や防災指導を行っている。今後、家庭や地域組織との連絡を密にしていきたい。

問 災害時に住民の避難所として学校施設の防災機能は確保されているか。

答 地域振興課長 各学校に発電機・簡易トイレ・備蓄品・防災井戸・情報機器等が配置されている。防災無線の内容を伝える電話の「音声自動サイ

問 1冊手元があれば町の情報が入る。町民のくらしに役立つ情報誌の作成はどうか。

答 政策秘書室長 調査研究した結果、生活ガイドとして今年度、企業と共同で発行していく。

問 学校のエアコン設置計画の進捗状況は。

答 教育総務課長 今後整備の計画を策定していききたい。

問 学校の緑のカーテンの取り組みは。

答 教育総務課長 環境改善と節電のため、中学校2校小学校4校で設置する。

問 道路の交通安全対策を。

答 道路交通課長 破損側溝は1日も早く直しグリーンベルトも視野に入りたい。

問 1冊手元があれば町の情報が入る。町民のくらしに役立つ情報誌の作成はどうか。

答 政策秘書室長 調査研究した結果、生活ガイドとして今年度、企業と共同で発行していく。



山口 正史

大震災発生時の対応および防災計画の見直し 避難誘導の状況、そして放射線量測定は



問 図書館ではどのように避難誘導が行われたか。

答 図書館長 本の落下の危険があり、書架の間から通路に誘導を行った。反省で、当日は落ちついて誘導ができなかったことを踏まえ、6月に避難訓練を行う。

問 保育所の避難誘導、保護者への引き渡しに問題はなかったか。

答 第一保育所長 月1回行っている訓練通りに避難誘導が行えた。帰宅困難な保護者がいたために子育て支援センターに子どもを移し、2名は翌日8時過ぎに保護者に無事に引き渡した。

問 学校で避難誘導、帰宅マニュアルは策定されているか。

答 学校教育課長 避難誘導はマニュアル化されている。

問 災害時の帰宅誘導は小学校5校中3校で保護者への引き渡し訓練が行われたが、全ての学校で帰宅マニュアルはできていない。今回の経験を基に、防災・帰宅マニュアルの包括的な見直しを行いたい。

答 環境産業課長 今回の震災を教訓に、企業と共に被害状況を確認している。

問 水道に使用している地下水の放射線量測定を行うべきでは。

答 上下水道課長 県水と地下水の混合水の検査は行っているが、地下水の検査も検討したい。

問 保育所、学校等の子どもが遊ぶ場所の放射線量測定を、町独自で行えないか。

答 町長 富士見市と協定し、消防組合所有の測定器を借りて来週から実施する予定にしている。

問 学校プールの清掃は。

答 学校教育課長 子どもがプールの汚泥に触らないように指示をした。



秋坂 豊

大規模震災を教訓とした今後の取り組みは 公共施設の「エコ」採用の長期展望



役場内の自家発電機

問 庁舎の自家発電機は、建設以来、稼働したことがあるか。

答 財務課長 年2回の点検の際、稼働したことがある。また、東日本大震災を受け、計画停電の際に稼働させた。

問 有事に備え、適切な点検をお願いしたいがどうか。

答 財務課長 有資格者に点検を委託している。

問 燃料はA重油だが、確保はできたのか。

答 財務課長 石油商組合に、優先的に供給していただけるように取り決めた。自家発電機のある部屋はいくつものドアがある。

問 昔は池だった丸池地域で液状化の危険はないのか。

答 地域振興課長 全くないとは言えないが、町・県のデータを見ても危険性は低い。

問 液状化マップの基準見直しについては。

答 地域振興課長 現状は東京湾北部地震を想定した基準であるため、今後は、県でも見直しが行われることも考えられる。

問 火災時に消防車が入れない地域の防災対策は。

答 地域振興課長 小型で高性能な消防車が導入されている。その他、自主防災組織等のコミュニケーションの力も非常に重要だ。

問 災害時、郵便局に容易に避難できる経路を確保できないか。

答 地域振興課長 郵便局と協議していく。

問 北永井第二区集会所の公衆トイレについて設置の経緯は。

答 地域振興課長 元々は古い集会所に付属する屋外便所として設置。その後、故障したため場所を道路側に移動し、平成3年に新設された。

問 再設置するのか。

答 都市計画課長 関係各課と協議する。

問 交通安全対策の実施を。

答 第二保育所近辺の交通安全対策として交通指導員の配置、もしくは標識等を設置してスクールゾーンの機能強化を進めていくか。

問 道路交通課長 警察や教育機関と協議して標識の整備等、交通安全対策に取り組んでいく。

問 地域振興課長 交通指導員に関しては横断歩道がないので設置は難しい。警察に交差点の危険性を訴え、設置できるように協議していく。

問 庁舎の自家発電機は、建設以来、稼働したことがあるか。

答 財務課長 年2回の点検の際、稼働したことがある。また、東日本大震災を受け、計画停電の際に稼働させた。

問 有事に備え、適切な点検をお願いしたいがどうか。

答 財務課長 有資格者に点検を委託している。

問 燃料はA重油だが、確保はできたのか。

答 財務課長 石油商組合に、優先的に供給していただけるように取り決めた。自家発電機のある部屋はいくつものドアがある。

問 昔は池だった丸池地域で液状化の危険はないのか。

答 地域振興課長 全くないとは言えないが、町・県のデータを見ても危険性は低い。

問 液状化マップの基準見直しについては。

答 地域振興課長 現状は東京湾北部地震を想定した基準であるため、今後は、県でも見直しが行われることも考えられる。

問 火災時に消防車が入れない地域の防災対策は。

答 地域振興課長 小型で高性能な消防車が導入されている。その他、自主防災組織等のコミュニケーションの力も非常に重要だ。

問 災害時、郵便局に容易に避難できる経路を確保できないか。

答 地域振興課長 郵便局と協議していく。

問 北永井第二区集会所の公衆トイレについて設置の経緯は。

答 地域振興課長 元々は古い集会所に付属する屋外便所として設置。その後、故障したため場所を道路側に移動し、平成3年に新設された。

問 再設置するのか。

答 都市計画課長 関係各課と協議する。

問 交通安全対策の実施を。

答 第二保育所近辺の交通安全対策として交通指導員の配置、もしくは標識等を設置してスクールゾーンの機能強化を進めていくか。

問 道路交通課長 警察や教育機関と協議して標識の整備等、交通安全対策に取り組んでいく。

問 地域振興課長 交通指導員に関しては横断歩道がないので設置は難しい。警察に交差点の危険性を訴え、設置できるように協議していく。



公明党
小松 伸介

“想定外”は許されない！防災対策徹底を！ 誰もが安心して暮らせるまちづくりを



問 昔は池だった丸池地域で液状化の危険はないのか。

答 地域振興課長 全くないとは言えないが、町・県のデータを見ても危険性は低い。

問 液状化マップの基準見直しについては。

答 地域振興課長 現状は東京湾北部地震を想定した基準であるため、今後は、県でも見直しが行われることも考えられる。

問 火災時に消防車が入れない地域の防災対策は。

答 地域振興課長 小型で高性能な消防車が導入されている。その他、自主防災組織等のコミュニケーションの力も非常に重要だ。

問 災害時、郵便局に容易に避難できる経路を確保できないか。

答 地域振興課長 郵便局と協議していく。

問 北永井第二区集会所の公衆トイレについて設置の経緯は。

答 地域振興課長 元々は古い集会所に付属する屋外便所として設置。その後、故障したため場所を道路側に移動し、平成3年に新設された。

問 再設置するのか。

答 都市計画課長 関係各課と協議する。

問 交通安全対策の実施を。

答 第二保育所近辺の交通安全対策として交通指導員の配置、もしくは標識等を設置してスクールゾーンの機能強化を進めていくか。

問 道路交通課長 警察や教育機関と協議して標識の整備等、交通安全対策に取り組んでいく。

問 地域振興課長 交通指導員に関しては横断歩道がないので設置は難しい。警察に交差点の危険性を訴え、設置できるように協議していく。



健康を守るため、放射線量の測定をすべき 大気・土壌・水道水の放射線量の独自測定を

問 保育所、小・中学校、公園、砂場、道路わきの土など、土壌測定を行うべきではないか。

答 環境産業課長 保育所、小・中学校の週1回程度の測定を考えている。

◆土壌の放射線量測定を

問 大気中の放射線量が降下し、土に積っていく。そこを子どもたちが走り回る。

答 環境産業課長 保育所、小・中学校の週1回程度の測定を考えている。

問 東京電力原子力発電所の放射能もれ事故が発生。福島県より約300kmまで影響を及ぼしている。毎日の生活の中で、空気中から、水道水、食べ物などから放射性物質が体の中へ入り、身体の内側から、放射線を浴びることになる。内部被曝が心配である。

答 環境産業課長 放射性物質のストロンチウムは白血病に、セシウム137は全身に広がり生殖細胞を攻撃し遺伝的影響をもたらす。プルトニウムは、わずかな量でも肺ガンになる。ヨウ素131は甲状腺障害や腫瘍を引き起こす。放射能汚染の収束のめどは、全くたっていない。

問 大気測定では、地表50cmと1mの2地点での放射線量の測定を実施すべきではないか。

答 環境産業課長 大気測定では、地表50cmと1mの2地点での放射線量の測定を実施すべきではない。

問 区長の業務負担をどのように考えているのか。

答 地域振興課長 行政区の区長および役員業務は町の伝達、区の運営と、かなりボリュームがあり、区長の負担の多いことは重々認識している。

問 区や自治会に入ることにメリットを町から周知する考えはないのか。

答 地域振興課長 行政区にあるいは自治会に入ることの魅力や町として周知していきたい。

問 介護保険法改正案が審議中だが、要支援と認定されている人を保険給付の対象からはずすと、判断を市町村に責任をゆだねる内容だ。今まで通り給付を受けられるようにすべきではないか。

答 健康増進課長 サービース低下しないよう検討する。

◆介護保険制度

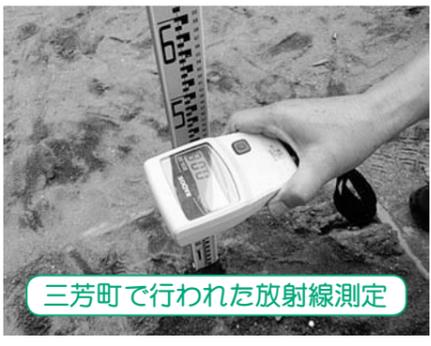
問 水道水は毎日飲み、料理にも使用する。週1回は測定を行うべきではないか。

答 上下水道課長 考える。

◆週1回の水道水測定を

問 水道水は毎日飲み、料理にも使用する。週1回は測定を行うべきではないか。

答 上下水道課長 考える。



三芳町で行われた放射線測定



三芳町の特長を生かしたまちづくりを！ 今後の農業政策、観光政策について



問 三芳町の特長は、首都圏30キロ圏内にありながら今なお農業が盛んに行われていることである。今後のまちづくりをどのように考えているのか。

答 環境産業課長 安心安全な野菜の産地として、「農」に親しむ「農」の町として農業施策を展開していきたい。

問 どのように「農業の町・三芳」を発信するのか。

答 環境産業課長 産業祭等の事業開催、町外イベントへの参加、人を通しての発信、ウェブサイトをツイッター等様々な方法で発信していきたい。本年度は、世界一のいも掘り大会を行う。また野菜に関して

問 三芳町の特長は、首都圏30キロ圏内にありながら今なお農業が盛んに行われていることである。今後のまちづくりをどのように考えているのか。

答 環境産業課長 安心安全な野菜の産地として、「農」に親しむ「農」の町として農業施策を展開していきたい。

問 どのように「農業の町・三芳」を発信するのか。

答 環境産業課長 産業祭等の事業開催、町外イベントへの参加、人を通しての発信、ウェブサイトをツイッター等様々な方法で発信していきたい。本年度は、世界一のいも掘り大会を行う。また野菜に関して

問 観光資源の一つである上富のケヤキ並木にケヤキを補植する予定はあるのか。

答 都市計画課長 県と協議しながら検討したい。

問 農工商連携による三芳ブランド創造は。

答 環境産業課長 三芳町には様々な素材がある。意見、提案を聞き進めていきたい。

◆観光施策について

問 今後どのように「観光のまちづくり」を進めていくのか。

答 町長 三芳町の資源を生かし、魅力を発信していきたい。「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりをしていきたい。政策研究所を作り、ビジョンを構築したい。

問 観光資源の一つである上富のケヤキ並木にケヤキを補植する予定はあるのか。

答 都市計画課長 県と協議しながら検討したい。

問 農工商連携による三芳ブランド創造は。

答 環境産業課長 三芳町には様々な素材がある。意見、提案を聞き進めていきたい。

問 三芳町の特長は、首都圏30キロ圏内にありながら今なお農業が盛んに行われていることである。今後のまちづくりをどのように考えているのか。

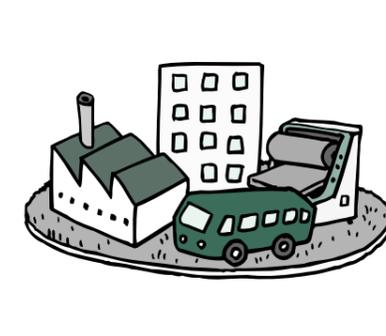
答 環境産業課長 安心安全な野菜の産地として、「農」に親しむ「農」の町として農業施策を展開していきたい。

問 どのように「農業の町・三芳」を発信するのか。

答 環境産業課長 産業祭等の事業開催、町外イベントへの参加、人を通しての発信、ウェブサイトをツイッター等様々な方法で発信していきたい。本年度は、世界一のいも掘り大会を行う。また野菜に関して



財政悪化の解決策は企業誘致！ 豊かなまちづくりは環境重視の土地利用



問 財政悪化に伴い、企業誘致の考えはないのか。

答 環境産業課長 税金、雇用が増すので都市計画を含め、今後計画の中で考えていきたい。

問 企業誘致をした場合、環境問題については。

答 環境産業課長 企業誘致と自然環境は難しい問題であるが、自然環境を重視する企業を誘致したい。

問 過去5年間に三芳町へ来た企業、出て行った企業の数は。

答 税務課長 平成18年から22年までで法人設立422件、廃業、解散464件。

問 その他、企業誘致の考えはないのか。

答 町長 税金を上げるためにも第4次総合振興計画の中に企業誘致という

問 財政悪化に伴い、企業誘致の考えはないのか。

答 環境産業課長 税金、雇用が増すので都市計画を含め、今後計画の中で考えていきたい。

問 企業誘致をした場合、環境問題については。

答 環境産業課長 企業誘致と自然環境は難しい問題であるが、自然環境を重視する企業を誘致したい。

問 過去5年間に三芳町へ来た企業、出て行った企業の数は。

答 税務課長 平成18年から22年までで法人設立422件、廃業、解散464件。

問 その他、企業誘致の考えはないのか。

答 町長 税金を上げるためにも第4次総合振興計画の中に企業誘致という

問 区長の業務負担をどのように考えているのか。

答 地域振興課長 行政区の区長および役員業務は町の伝達、区の運営と、かなりボリュームがあり、区長の負担の多いことは重々認識している。

問 区や自治会に入ることにメリットを町から周知する考えはないのか。

答 地域振興課長 行政区にあるいは自治会に入ることの魅力や町として周知していきたい。

◆行政と自治会

問 住民と行政のパイプ役である区や自治会から脱退する住民が増えているが、いかがなものか。

答 地域振興課長 行政区や自治会はまちづくりの重要なパートナー、深刻に受けとめている。

問 解決策はあるのか。

答 地域振興課長 震災を機に地域防災の共助、高齢者の見守り、行政区と協議しながら、積極的な広報活動と加入率を検討したい。

問 区や自治会に入ることのメリットを町から周知する考えはないのか。

答 地域振興課長 行政区にあるいは自治会に入ることの魅力や町として周知していきたい。

問 駅前には富士見市の観光案内はあるが、三芳町の案内はなく、町外から車で訪れた人が何処に、何があるか全く分からずこれで訪れてよしといえるのか。

答 政策秘書室長 過去に検討したことがなく、今後関係先と協議していく。

問 駅前の自転車の整理について、三芳町は富士見市に負担金を支払ったがこの負担金に見合った整理をする人のシルバー人材センターよりの派遣割合は三芳町にもあるのか。

答 地域振興課長 富士見市が全面委託している。

問 三芳町には、お茶、芋、新鮮な野菜等の産物があるが、お茶は狭山茶、芋



環境に調和した活気あふれるまちづくりについて 「住んでよし・訪れてよし」三芳を輝く町に



問 三芳町には、お茶、芋、新鮮な野菜等の産物があるが、お茶は狭山茶、芋

答 環境産業課長 相当の投資が必要で当面は菜の花、麦等の緑地作りで対応したい。

問 安全な生活道路や歩道の整備について、道路の拡幅には費用も、時間もかかるので、全国の事例を勉強し、思い切った策として、藤久保地区や住宅密集地で一方通行化を採用しては。

答 道路交通課長 非常に難しい問題があるが、可能であれば検討したい。

問 犯罪の未然防止で危険箇所へ防犯カメラの設置は。

答 地域振興課長 効果が期待されるが、半面、人権侵害等の問題もあり、今後の研究課題としたい。

問 駅前には富士見市の観光案内はあるが、三芳町の案内はなく、町外から車で訪れた人が何処に、何があるか全く分からずこれで訪れてよしといえるのか。

答 政策秘書室長 過去に検討したことがなく、今後関係先と協議していく。

問 駅前の自転車の整理について、三芳町は富士見市に負担金を支払ったがこの負担金に見合った整理をする人のシルバー人材センターよりの派遣割合は三芳町にもあるのか。

答 地域振興課長 富士見市が全面委託している。

問 三芳町には、お茶、芋、新鮮な野菜等の産物があるが、お茶は狭山茶、芋

問 三芳町の特長は、首都圏30キロ圏内にありながら今なお農業が盛んに行われていることである。今後のまちづくりをどのように考えているのか。

答 環境産業課長 安心安全な野菜の産地として、「農」に親しむ「農」の町として農業施策を展開していきたい。

問 どのように「農業の町・三芳」を発信するのか。

答 環境産業課長 産業祭等の事業開催、町外イベントへの参加、人を通しての発信、ウェブサイトをツイッター等様々な方法で発信していきたい。本年度は、世界一のいも掘り大会を行う。また野菜に関して

問 三芳町の特長は、首都圏30キロ圏内にありながら今なお農業が盛んに行われていることである。今後のまちづくりをどのように考えているのか。

答 環境産業課長 安心安全な野菜の産地として、「農」に親しむ「農」の町として農業施策を展開していきたい。

問 どのように「農業の町・三芳」を発信するのか。

答 環境産業課長 産業祭等の事業開催、町外イベントへの参加、人を通しての発信、ウェブサイトをツイッター等様々な方法で発信していきたい。本年度は、世界一のいも掘り大会を行う。また野菜に関して

問 三芳町の特長は、首都圏30キロ圏内にありながら今なお農業が盛んに行われていることである。今後のまちづくりをどのように考えているのか。

答 環境産業課長 安心安全な野菜の産地として、「農」に親しむ「農」の町として農業施策を展開していきたい。

問 どのように「農業の町・三芳」を発信するのか。

答 環境産業課長 産業祭等の事業開催、町外イベントへの参加、人を通しての発信、ウェブサイトをツイッター等様々な方法で発信していきたい。本年度は、世界一のいも掘り大会を行う。また野菜に関して



日本共産党
杉本しげ

郵政宿舎を避難施設に開放し被災者支援を 子ども医療費窓口払い撤廃条件整備は完了か



仙台市内の避難所

問 三芳町や近隣市には、宮城県や福島県などから300人もの被災者が親戚や知人をたよって避難している。塩川てつや衆議院議員の調査では「財務省の理財局が、三芳町にある郵政宿舎70戸が避難施設リストにあがっており、その活用は所在する自治体の判断による」とのこと。同宿舎の開放を積極的に要請し、避難者の声に応えるべきではないか。

答 地域振興課長 調査の結果、三芳町にある郵政宿舎は「候補施設」として総務省から提示されているが未調整の段階だと県から聞いている。

問 利用ができないと決まったわけではない。再調査をすべきではないか。

問 町長 候補施設としているが、利用が可能かどうか再調査を指示する。

答 プール掃除に配慮を

問 「子どもたちがプールの健康被害が心配」との父母の声がある。配慮すべきでは。

答 学校教育課長 指摘後、汚泥は子どもに触れさせない。マスク、長靴使用、終了後の手・足洗いの徹底を学校に伝えた。

◆子育て支援について

問 こども医療費無料制度は、富士見市、ふじみ野市で中学3年生まで拡大し足並みがそろった。窓口払いの撤廃はできないか。

答 こども支援課長 社会保障に委託する方法で2市1町の事務研究会で検討中。

問 24時間対応の小児救急医療が、移転するイムス病院でできるか状況把握は。

答 健康増進課長 広域での検討課題だ。

◆その他の質問 幼稚園奨励補助金の増額、保育料の減免制度の拡大について



菊地 浩二

想定される大震災に備えるために！ 土曜日も授業？ 夏休みは短縮？ どうなの？

問 東北地方を中心に甚大な被害をもたらせた東日本大震災は、三陸はるか沖・宮城県沖・福島県沖プレートが一緒に連動して巨大地震が発生しただけでなく、海溝付近のごく浅い部分が大きく揺れたことが今回の大きな津波を発生させた。

問 今後の最大余震や東海・東南海・南海地震が同じように一気に発生することも想定しなければならぬ。三芳町の防災・減災の取り組みについて伺う。

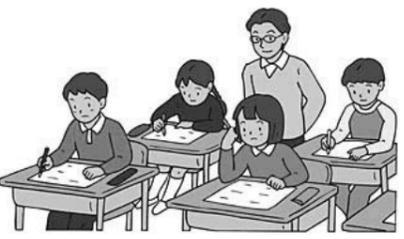
答 今回の震災で三芳町地域の防災計画の想定以上の停電が発生した。どのような影響があったか。

答 地域振興課長 役場の震度計では震度5弱だったが、地域によってはそれ以上だったかもしれない。停電によって信号機も消え、混乱した。東京電力と十分に検証していきたい。

問 帰宅困難者は7500人と想定していた。今回の震災ではどうであったか。

答 地域振興課長 推計をしていない。

問 防災無線が聞き取りにくいという声が多い。どのような改善を考えているか。



答 地域振興課長 音量の調整やアナウンス技術の向上を図りたい。

問 無線だけでなく、代替の手段も考えるべきではないか。

答 地域振興課長 当然考えていかななくてはならない。

◆学校の授業時間の確保

問 新学習指導要領では授業時間が増加した。授業時間を確保するために、どのような議論があったか。

答 学校教育課長 教育委員会では直接的に議題にあがっていない。

問 土曜授業、長期休暇の短縮などは検討するか。

答 学校教育課長 学校運営協議会で検討していきたい。更に検討を進めていきたい。



久保健二

子どもからお年寄りまで安心して過ごせる空間を！ スポーツ施設・散歩道等のある公園を町内に！

問 北永井第二区集会所敷地内に設置してあった屋外トイレの町の認識は。

答 地域振興課長 公衆用トイレとして設置されていて、当時の工事費は350万円ほどで建設されたと聞いている。

問 屋外トイレの設置については、地域住民の意見を取り入れているか。

答 都市計画課長 公園の面積等を勘案した中で設置していたと考えている。

問 屋外トイレの再設置について、あらためて要望したいと思うがどうか。

答 都市計画課長 所管の場所を含め、財務課とも十分協議していきたい。

問 チェルシーガーデン内のひらの公園は雨が降ったあと、数日水が溜まって立ち入れない状態だがどうか。

答 都市計画課長 早急に対応したい。

◆三芳町内の公園・広場について

問 町内の公園・広場の維持管理方法は。

答 都市計画課長 シルバー人材センター及び各行政区に委託している。

問 ふじみ野公園のようなスポーツ施設（バスケットコート）、また散歩道などがある公園・広場を造って欲しいがどうか。

答 都市計画課長 近隣市の公園・広場を参考にしていきたい。

問 公園・広場造りに地域の要望を取り入れる意見交換の機会を持つことが大切と考えるが可能か。

答 都市計画課長 今後そういう機会を持ち、住民の要望を聞きたい。

問 遊具等の点検方法は。

答 都市計画課長 遊具の専門業者に委託し、指摘された遊具については次年度修理している。



雨水対策が必要なひらの公園



日本共産党
増田磨美

非核平和宣言都市としてもっと啓発活動を 保育の待機児解消は最優先課題ではないのか

問 三芳町は、平和都市宣言をしている町だが、現在行っている平和啓発活動は。

答 総務課長 原水爆禁止の町長メッセージや埼玉平和反核の日リレーの出发点の提供など。

問 演劇「父と暮らせば」朗読劇「この子たちの夏」の上演を提案する。今年度の文化会館や公民館の平和自主事業についての計画は。

答 地域振興課長 文化会館では今年度の計画はない。しかし、平和事業の実施を側面支援し連携していくことは考えられる。

◆幹線7号線歩道の改善

問 実際に車イスを使用して危険箇所調査を行うことは考えられるか。



車イスで歩道調査

答 幹線20号線のあずさ保育園方面への歩道は非常に幅が狭く危険。早急に整備が必要なのは。道路交通課長 困難な問題があり進んでいないが、通学路としても歩道は必要と考えているので整備を推進していきたい。

◆保育所の待機児解消

問 公立第一保育所は、4年後に閉園の予定となっている。しかしその間、受け入れを止めず募集していけば合理的に待機児解消につながるのではないか。

答 こども支援課長 次世代行動計画では26年度に520名の定員確保を目標としている。25年度に民間保育所がオープンできるように進めているが、23年度分の入所募集時には、第一保育所の閉鎖が前提にあり、新規受け入れを行わないこととした。

議会活動日誌

5月

10日 第3回臨時会
18日 入間郡町村議会議長会総会
30日 議会運営委員会

24日 全員協議会
28日 厚生文教常任委員会

6月

1日 埼玉県町村議会議長会臨時総会
2日～13日 第4回三芳町議会定例会
2日 総務常任委員会
厚生文教常任委員会
9日 議会運営委員会
10日 総務常任委員会
全員協議会
15日 入間東部地区消防組合議会
16日 議会運営委員会
23日 入間東部地区衛生組合議会

7月

4日 第5回臨時会
議会運営委員会
全員協議会
6日 総務常任委員会
議会だより編集委員会
11日 全員協議会
12日 青森県おいらせ町議会視察来庁
13日 議会運営委員会
19日 宮崎県高鍋町議会視察来庁
21日 岩手県奥州市議会視察来庁
27日 議会運営委員会
28日 厚生文教常任委員会

次の議会定例会は

9月1日

の開会の予定です

皆様の傍聴を
お待ちしております

夜間議会を開催します

日時：9月6日（火）18:00～21:30（予定）

内容：議員3名による一般質問

※会議途中の入退場は自由ですのでお気軽にお越しください

議会報告会を開催します

日時：10月22日（土）18:00～20:00

（竹間沢公民館・農業センター）

10月23日（日）10:00～12:00

（藤久保公民館・中央公民館）

内容：決算審査の報告及び議員との意見交換

編集後記

3月11日、東日本大震災が発生し、尊い生命が失われました。心より哀悼の意を表明します。町議会も、防災や放射能漏れ事故に関する質問が多くありましたが、残念ながら福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故の収束めどは全く立っていません。

国会では、地震や津波による外部電源、内部電源の破損で2次冷却系が機能しなくなり、炉心溶融に至ったときの被害を想定して、今から早急な対策を講じておくべきとの質問がなされています。

今、世界中の英知を結集して、一刻も早く放射能漏れ事故を収束させることが大切です。

さて、現在の議会だより編集委員会は、議員の改選を経て新しく構成された委員で活発な発言と議論を行い、住民に親しまれ多くのおみなさまにご覧頂けるような、よりよい議会だよりを目指して活動しています。

議会だより編集委員会

委員長 吉村美津子

委員長 吉村美津子
副委員長 久保健二
委員 菊地浩二
委員 石田豊二
委員 小松伸介
議長 山田政弘